

いった開催方針に関する要望が含まれている。

以上のコメントから、受講者の立場に立って会の準備・進行を行うことが重要であると再認識できる。

5. おわりに

5段階評価による結果だけに注目すれば概ね良好であり、講義内容とその資料に大きな問題はないと結論付けられるかもしれない。しかし

ながら、講習会の更なる充実を目指すならば、受講者が時間を割いて残してくれた貴重なコメントに着目し、得られた情報を参考に新たな試みを検討することは有益であろう。見いだされた問題点の解消に向け努力することにより、教育効果は高まり、受講者の評価もより高いものになると期待できる。今後の講習会実施の参考になれば幸いである。

平成 26 年春 放射線安全取扱部会の分科会活動が変わります！

放射線安全取扱部会企画専門委員会

放射線取扱主任者部会の時代より、支部活動とともにテーマごとに放射線安全に関わる活動を展開してきた分科会活動を積極的に支援し、その実質性を高めるために、平成 26 年度から新たな放射線安全取扱部会の分科会活動がスタートします。

ポイント 1

テーマを絞って単年度ごとの活動とし、得られた成果の公表や水平展開のための予算を申請することができます。

ポイント 2

次年度の継続は可能ですが、重要度の高い時限テーマに関しては、部会直轄のワーキンググループとして継続発展を支援します。

ポイント 3

分科会の設置申請は、部会員であれば誰でもできます。アイデアの段階でも企画委員会をご相談をお受けしますので、放射線安全取扱部会事務局 (gakujutsu@jrias.or.jp) までお問い合わせください。また、一人一人の部会員からの提案に加え、企画専門委員会からもテーマを提案し、参加を呼びかけていきます。

新しくなった分科会活動を、どうぞ積極的にご利用ください。

主任者コーナーの編集は、放射線安全取扱部会広報専門委員会が担当しています。

【広報専門委員】 上養義朋 (委員長)、池本祐志、小野孝二、川辺 陸、鈴木朗史、桧垣正吾、宮本昌明、吉田浩子